

# 第1回 震災伝承検討会議の 結果概要

平成28年9月28日

震災伝承検討会議(第2回)資料

# 第1回 震災伝承検討会議の議題

- (1)「震災伝承検討会議」の役割・スケジュール
- (2)「石巻市震災伝承計画」の枠組み(案)
- (3)震災伝承の現況と課題
- (4)震災伝承等に関する意見・意向

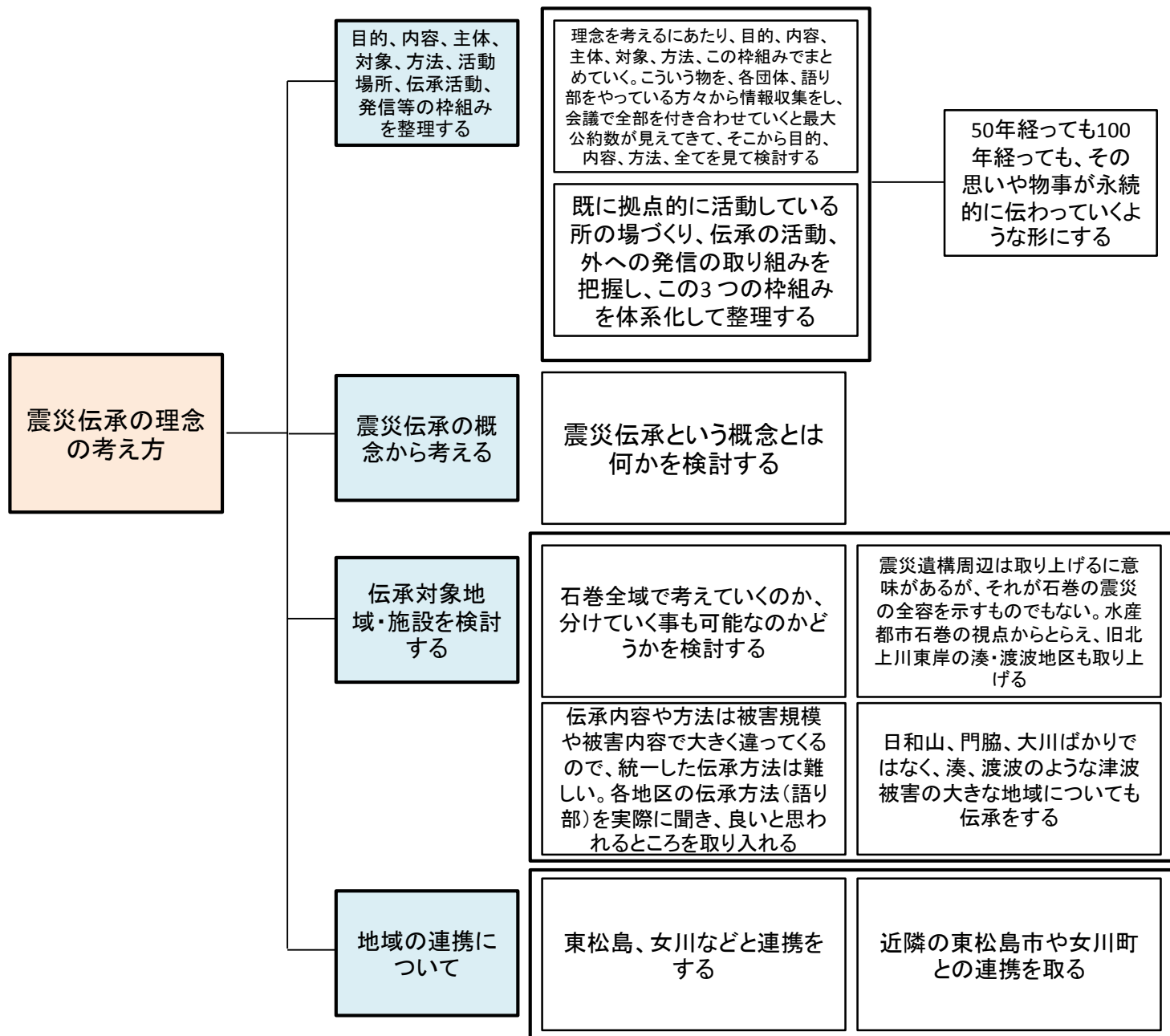
# 意見の振り返り

- ・第1回「震災伝承検討会議」で出された意見を整理・分類
- ・意見は、「震災伝承の理念の考え方」、「伝承する内容」、「伝承の方法」に概ね集約され、その他に「情報館のあり方、直すべき点」などについて意見が出された。

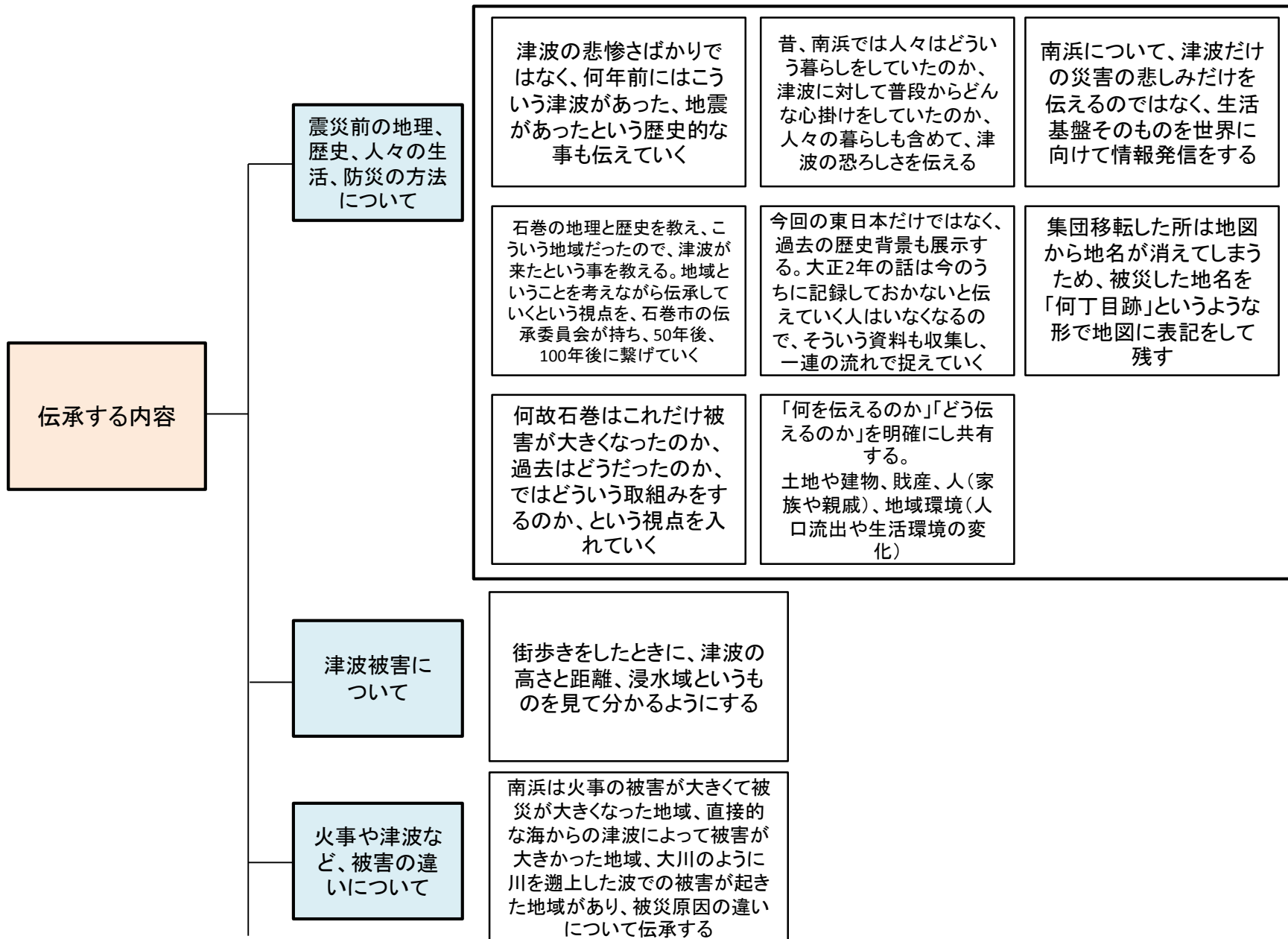
# 意見の分類

1. 震災伝承の理念の考え方
2. 伝承する内容
3. 伝承の方法
4. 施設のあり方

# 1. 震災伝承の理念の考え方



# 2. 伝承する内容



震災前の地理、歴史、人々の生活、防災の方法について

津波の悲惨さばかりではなく、何年前にはこういう津波があった、地震があったという歴史的な事も伝えていく

昔、南浜では人々はどういう暮らしをしていたのか、津波に対して普段からどんな心掛けをしていたのか、人々の暮らしも含めて、津波の恐ろしさを伝える

南浜について、津波だけの災害の悲しみだけを伝えるのではなく、生活基盤そのものを世界に向けて情報発信をする

石巻の地理と歴史を教え、こういう地域だったので、津波が来たという事を教える。地域ということを考えながら伝承していくという視点を、石巻市の伝承委員会が持ち、50年後、100年後に繋げていく

今回の東日本だけではなく、過去の歴史背景も展示する。大正2年の話は今のうちに記録しておかないと伝えていく人はいなくなるので、そういう資料も収集し、一連の流れで捉えていく

集団移転した所は地図から地名が消えてしまうため、被災した地名を「何丁目跡」というような形で地図に表記をして残す

伝承する内容

何故石巻はこれだけ被害が大きくなったのか、過去はどうだったのか、ではどういう取組みをするのか、という視点を入れていく

「何を伝えるのか」「どう伝えるのか」を明確にし共有する。土地や建物、財産、人(家族や親戚)、地域環境(人口流出や生活環境の変化)

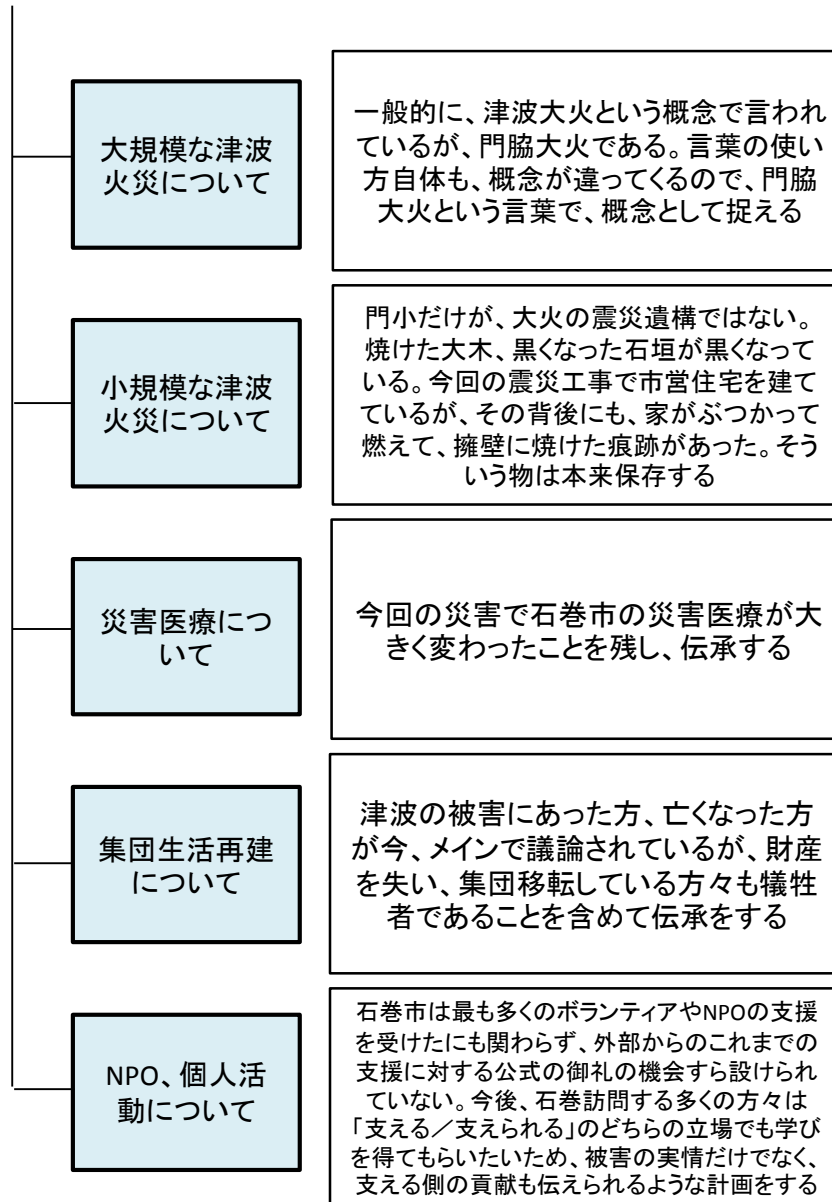
津波被害について

街歩きをしたときに、津波の高さと距離、浸水域というものを見て分かるようにする

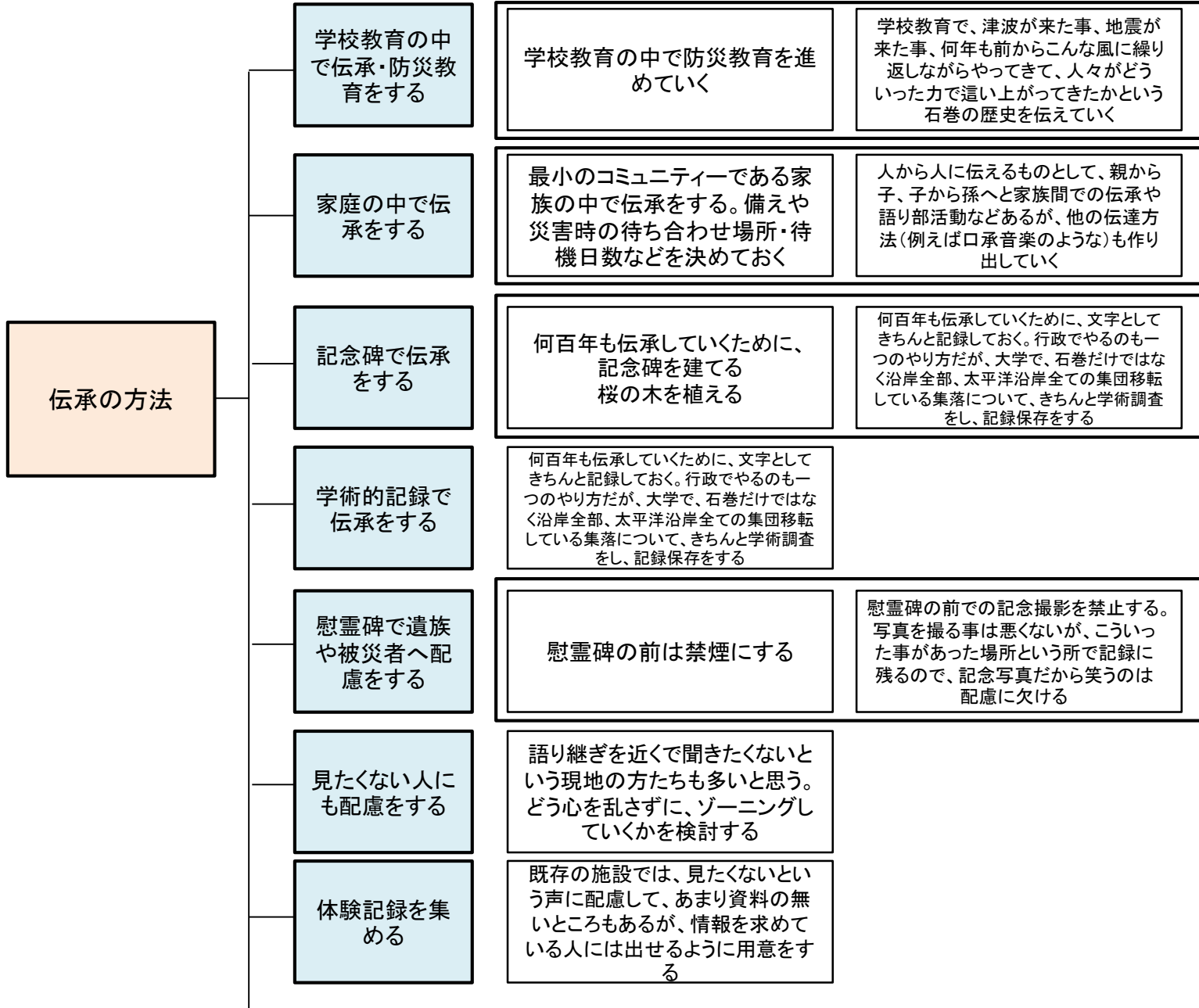
火事や津波など、被害の違いについて

南浜は火事の被害が大きくて被災が大きくなった地域、直接的な海からの津波によって被害が大きかった地域、大川のように川を遡上した波での被害が起きた地域があり、被災原因の違いについて伝承する

## 2. 伝承する内容

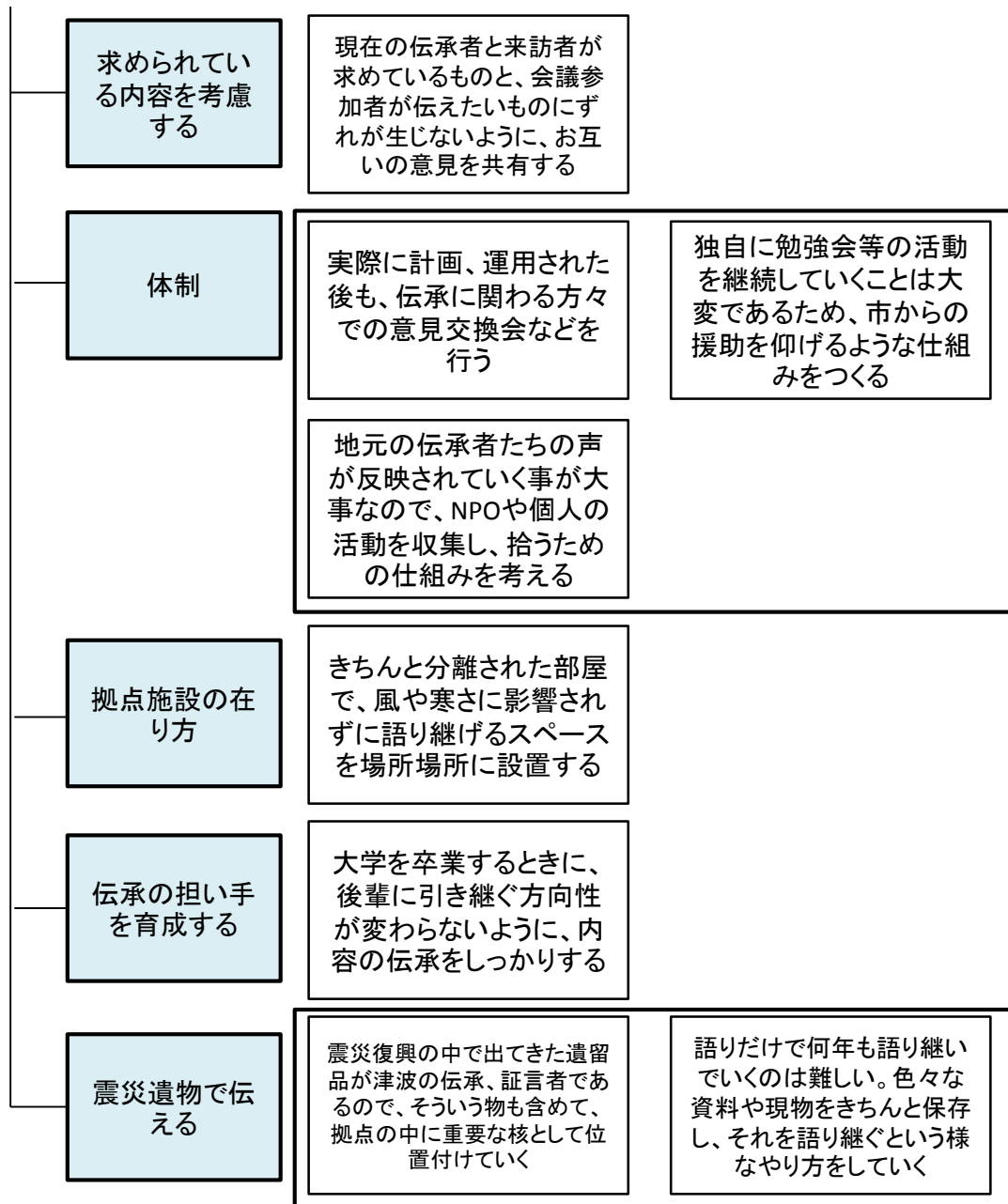


# 3. 伝承の方法





# 3. 伝承の方法



# 4. 施設のあり方

